

豊中市南部地域の学校跡地に関する
個別活用計画の改訂について

(答申)

令和8年(2026年)2月

豊中市公共施設等有効活用委員会

目次

I. 答申にあたって・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

II. 豊中市南部地域の学校跡地に関する個別活用計画の改訂への意見・・・・・・2

III. 審議経過・審議会委員・・・・・・・・・・・・・・・・3

<参考資料>

○豊中市南部地域の学校跡地に関する個別活用計画(素案)

I. 答申にあたって

豊中市では、南部地域における諸課題を解消するため、庄内地域における「魅力ある学校づくり」や庄内コラボセンターの開設など南部地域活性化構想の推進が図られています。

その取り組みの進捗に伴い、地域の活動拠点として市民が集い、街並みに変化を及ぼし具体的な成果が発現されています。

豊中市公共施設等有効活用委員会においては、令和7年（2025年）12月、豊中市南部地域の学校跡地に関する個別活用計画の改訂について諮問を受け、旧庄内西小学校、旧庄内南小学校跡地の利活用に関して、財産の有効活用を促進するとともに、地域の魅力が向上することを期待し、新たなまちの魅力創出と地域コミュニティの継続に繋がるよう答申しました。

当委員会においては、これまでと同様に、南部地域の特性や多様な資源を活かし、地域コミュニティを担う人材の育成や特色ある学びのフィールドの推進を継続しつつ地域活性化に繋がるよう留意しながら、地域の核となる学校跡地のあり方について審議を行ってまいりました。

豊中市南部地域の学校跡地に関する個別活用計画の改訂にあたっては、当委員会の意見を十分に踏まえて検討していただくことをお願いするものであります。

令和8年（2026年）2月9日
豊中市公共施設等有効活用委員会
委員長 木多 道宏

Ⅱ. 豊中市南部地域の学校跡地に関する個別活用計画の改訂への意見

南部地域の学校跡地の利活用について、多様な地域資源を活かし、新たな魅力の創出へ繋がるか、まちの活性化に資する内容となっているか等の視点で審議し、以下のとおり取りまとめましたので意見として申し述べます。

◆5.2 各学校跡地について(P19、20)

	意見
1	庄内西小について現状の施設の利用状況を把握し、地域住民の意見を取り入れた活用がなされるよう留意されたい。
2	庄内西小の近隣には神崎川があり、川の氾濫や浸水の危険がある場合にそなえ、水平避難だけではなく垂直避難も視野に入れ、災害時の地域特性を鑑みた新施設を検討されたい。
3	庄内南小の敷地内の校舎北側部分に建設予定のコミュニティ施設について、地域住民の意見を踏まえた新施設の在り方を検討されたい。
4	近隣には文化財の展示を主な目的とした郷土資料館があり、庄内南小の校舎の一部を利用した文化財収蔵庫と関連付けながら、エリア全体を見据えた活用を行うことが望ましい。
5	庄内南小の校舎の老朽化が進行している状況を踏まえ、減築した校舎の利用を続けるにあたり安全性に配慮しながら適切な管理のもとで活用を検討されたい。

※項目の後についているページ番号は、【参考資料】豊中市南部地域の学校跡地に関する個別活用計画のページ番号です。

Ⅲ. 審議経過・審議会委員

◆審議経過

回	開催日	内容
第4回 公共施設等有効活用委員会	令和7年(2025年) 12月1日(月)	・南部地域の学校跡地に関する個別活用計画の審議
第5回 公共施設等有効活用委員会	令和8年(2026年) 2月2日(月)	・南部地域の学校跡地に関する個別活用計画の審議 ・答申案について

◆委員名簿

	選任区分	氏名
1	学識経験者	◎木多 道宏
2		小西 康仁
3		小林 猛
4		田中 晃代
5		○和田 聡子
6	公募市民	上村 有里

委員長◎・職務代理○ (区分・五十音順、敬称略)